



こんにちは！ 松前町地域包括支援センターです♪

「物忘れ」と「認知症」

最近、物忘れが多いなあと心配になったり、「いつも同じことを言う」とまわりの人に言われて不安を感じたりしている方もいるかもしれません。

今回は「物忘れ」と「認知症」の違いについてお伝えします。

物忘れと認知症の違い

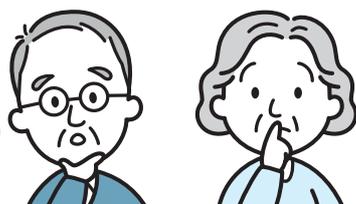
普通の物忘れ

体験の一部を忘れる
今日の昼ご飯に何を
食べたか忘れる

物忘れの
自覚がある

進行しない

生活に特に
支障はない



認知症による物忘れ

体験の全体を忘れる
昼ご飯を食べたこと
自体を忘れる

物忘れの
自覚がない

生活に支障が
出てくる
料理などの手順がわからない
時間や場所がわからなくなる

進行する

認知症予防

認知症の予防には、食生活に気をつけること、適度な運動をすること、頭をしっかりと働かせること、人と交流すること（会話など）が良いとされています。

認知症は早期に発見することで、治療につなぐことや生活の不自由さを少なくすることができます。気になる症状があれば、精神科・老年科などの専門医やかかりつけ医に相談しましょう。「物忘れ外来」などを設けている病院もありますよ。健康課や松山保健所にもお気軽にご相談ください。

問 健康課地域包括支援センター係 ☎985-4205
保健センター係 ☎985-4118
松山保健所精神保健係 ☎909-8757 (内線260)

ふるさと歴史散歩⑤⑩

大森彦七ゆかりの地を訪ねる Ⅱ

(松前史談会レポート)

砥部町には、大森彦七ゆかりの伝承・史跡がある。太平記第23巻には「彦七が事」と題する1章があり、近松門左衛門の「吉野都女楠」・福地桜痴の戯曲「大森彦七」では市川団十郎や松本幸四郎が上演した。

- ① 大宮八幡宮（大南）
豪壮な神門が目に入る。明治3年（1870）、砥部町大平の若宮社にあったケヤキの大木（周囲約5m）1本で造られたものという。簡素であるが、落ち着いた風格がある。
千里城主大森家代々の祈願所であり、彦七が戦勝祈願をしたといわれる。彦七は、最初はここに祀られていた。
- ② 常盤木神社（五本松花畑）
大森彦七は、現在はここに祭神として合祀されている。牛頭観音を祀った境内社があり、それがそうだという。大宮八幡宮から常盤木神社に移された時期・理由は判らないという。
樹齢200年以上という大銀杏が今も生き茂り、天然記念物に指定されている。近くに居館跡がある。
- ③ 魔住が窪の地藏堂（拾町）
伊予温故録に「麻生村に在り、大洲日記に云う。大森彦七化物に出逢いたる所なり……」とある。近くの矢取川堤上に「正義の鬼美女となり大森彦七をおそいし処」の石碑が建つ。
- ④ 彦七にまつわる宝剣
大山祇神社へ奉納した野太刀のほかに、塩売が淵の塩売り人から求めた脇差・楠正成が所持していた菊水丸の短刀・相模国広光作の短刀である百足丸が有名。



▲大宮八幡宮
三輪田米山書の石碑が二基ある。
(砥部町文化財)



▲常盤木神社境内に祀られている
牛頭観音

7月11日（土）は、「義人…矢野騒動の七右衛門・片平騒動の今村久兵衛・矢取川事件の窪田兵右衛門」を訪ねる。8時30分、松前庁舎南駐車場集合。車で移動。

問 松前史談会（鷺野）☎984-5439